

製品仕様書		承認	確認	作成
				
型録番号	KU0060		極配置	
製品名	OA タップ (4ヶ口)			
定格	接地形 2P 20 A 125 V			
目次				
1.	適用範囲			2
2.	型録番号、品名及び定格			2
3.	電気用品安全法			2
4.	外観、構造、寸法、材料及び色相			2
4.1.	外観			2
4.2.	構造			2
4.3.	寸法			2
4.4.	材料			2
4.5.	色相			2
5.	性能			2
5.1.	電気的性能			2
5.1.1.	絶縁抵抗			2
5.1.2.	耐電圧			2
5.1.3.	接触抵抗			3
5.1.4.	温度上昇			3
5.1.5.	開閉			3
5.2.	機械的性能			3
5.2.1.	ねじ端子部の接続部強度			3
5.2.2.	保持力			3
5.2.3.	外郭強度			3
5.2.4.	コード引止部の強度			3
5.3.	耐熱			4
6.	端子部接続方法			4
6.1.	引締接続の場合 (接地極は除く)			4
6.2.	圧着端子接続の場合			4
6.3.	適正締付トルク			4
7.	包装表示			4
8.	関連規格			4
9.	組立図面			4
作成年月日	'02年 5月 30日	改定年月日	'22年 4月 13日	

## 1. 適用範囲

この仕様書は、アメリカン電機株式会社において製造、販売する KU0060 OA タップ (4 ケロ) について規定する。

## 2. 型録番号、品名及び定格

型録番号 : KU0060

品名 : OA タップ (4 ケロ)

定格 : 接地形 2P 20 A 125 V (NEMA 規格)

## 3. 電気用品安全法

特定電気用品適合。

## 4. 外観、構造、寸法、材料及び色相

### 4.1. 外観

機能上、並びに使用上有害な変形、キズ、ワレ、ヨゴレ、サビ等がないこと。

### 4.2. 構造

(1) 構成部品全てによって形状が正しく組み立てられていること。

(2) 通常の使用状態で、充電金属部に人が容易に触れる恐れがないこと。

(3) 端子ねじの作用している山数は 2 山以上あること。

(4) 開閉の際、アークによる短絡又は地絡を生じる恐れがないこと。

(5) 端子部は引締接続(接地極は除く)、圧着端子接続ができること。

### 4.3. 寸法

寸法、形状は組立図面のとおりであること。

### 4.4. 材料

構成部品の材料は組立図面のとおりであること。

### 4.5. 色相

下記色相により、構成されている。

型録番号	プラカバーA・B	7210GD-5-IV
KU0060	白色	白色

## 5. 性能

### 5.1. 電氣的性能

#### 5.1.1. 絶縁抵抗

500 V の絶縁抵抗計で、極性が異なる充電金属部間、並びに各充電金属部と非充電金属部との間を測定した絶縁抵抗値は、開閉試験前で 100 M $\Omega$  以上、開閉試験後で 5 M $\Omega$  以上であること。

#### 5.1.2. 耐電圧

5.1.1 項の試験部に 50 Hz、又は 60 Hz のほぼ正弦波に近い交流電圧 1250V を 1 分間加圧したときこれに耐えること。

### 5.1.3. 接触抵抗

通常の使用状態に於いて、接地極刃受と対応するさし込みプラグの接地極刃との接触抵抗は  $50 \text{ m}\Omega$  以下であること。

### 5.1.4. 温度上昇

通常の使用状態に於いて、定格電流  $20 \text{ A}$  を通電し、温度がほぼ一定となったとき、刃受部の最高温度上昇値は  $40 \text{ }^\circ\text{C}$  以下であること。なお、この試験は開閉試験前後に行なう。

### 5.1.5. 開閉

通常の使用状態に於いて、 $20 \text{ A } 125 \text{ V}$  力率約 1 を通電し、毎分 20 回の割合で連続 5000 回の開閉を行い、更に 1.5 倍の電流の  $30 \text{ A } 125 \text{ V}$  力率約 1 を通電し、毎分 20 回の割合で連続 100 回の開閉を行ったとき、極間短絡その他使用上有害な故障が生じないこと。

## 5.2. 機械的性能

### 5.2.1. ねじ端子部の接続部強度

#### (a) ねじ端子強度

##### (1) トルク強度

適用電線を引締、及び圧着端子で接続し、 $1.2 \text{ N}\cdot\text{m}$  のトルクを加えたとき、端子又は端子ねじの破損等の異常が生じないこと。

##### (2) 電線保持力（接地極は除く）

適用電線を引締接続し、端子ねじに  $0.8 \text{ N}\cdot\text{m}$  のトルクを加えたのち、電線と器具との間に引張荷重  $50 \text{ N}$  を 1 分間加えた後、端子又は端子ねじに破損、電線の脱出等の異常が生じないこと。

### 5.2.2. 保持力

試験用プラグを正しくさし込み、これを引抜く方向に真直ぐに引張荷重を徐々に加え、プラグが抜け出すときの値が  $20\sim 100 \text{ N}$  の範囲内であること。なお、この試験は開閉試験前後に行なう。

### 5.2.3. 外郭強度

#### (a) 外郭押圧強度

通常の使用状態に於いて、厚さ  $15 \text{ mm}$  以上の堅木の平らな板の間に挟み、徐々に押圧荷重を加え、 $600 \text{ N}$  に達したときから 1 分間その値に保持したのち、荷重を取り去ったとき、外郭の破損その他使用上有害な故障が生じないこと。

#### (b) 振子自重落下強度

試験品に定格電流に合せたコードを正しく接続し、鉛直面の延長上において長さ  $1 \text{ m}$  のコードを試験品が木板の中央に当たるように支持し、 $1 \text{ m}$  の高さから 3 回自然落下させ、破損等有害な支障がないこと。可能な範囲で、試験品が木板にあたる箇所が異なること。

### 5.2.4. コード引止部の強度

試験品に正しくコードを接続し、コードの引出方向に真直にコードと試験品の間に徐々に引張荷重を加え、 $90 \text{ N}$  で 1 秒間の操作を 25 回行った時、コード引止部の破損がなくコード接続部のズレが  $2 \text{ mm}$  以下であること。

### 5.3. 耐熱

80 °C の恒温槽内に入れ、7 時間経過ののち取り出し自然に室温まで冷却し点検したとき、軟化、変形、膨れその他使用上有害な異常が生じないこと。

## 6. 端子部接続方法

### 6.1. 引締接続の場合（接地極は除く）

心線ストリップ長 : 13 mm

### 6.2. 圧着端子接続の場合

心線ストリップ長 : 6~7 mm

適用圧着工具 : JIS C 9711 又は圧着端子メーカー指定の圧着工具を使用すること。

適用圧着端子 : 組立図面のとおりであること。

### 6.3. 適正締付トルク

トルク : 1.2 N·m

## 7. 包装表示

表示事項は、型録番号、品名、定格、数量及び社名等から構成している。

## 8. 関連規格

電気用品安全法

JIS C 8303 配線用差込接続器

JIS C 8306 配線器具の試験方法

NEMA WD-6 Wiring Devices - Dimensional Specifications

## 9. 組立図面

別紙による。

以上